

人の作業を支援するメカトロニクス技術

1969年にメカトロニクスという言葉が誕生して約半世紀の間、我が国の主要産業はメカトロニクス技術を基盤として発展し、その先進性と獨創性において世界をリードしてきました。一方で、この半世紀の間に、我が国も大きく変化し、少子高齢化問題、環境問題、自然災害問題などが顕在化し、その解決策としてサービスロボットやフィールドロボットなどの開発が期待されています。中京地域においても、自動車、航空機、工作機械などの産業の発展にメカトロニクス技術の貢献は計り知れません。今後、メカトロニクス技術が次世代自動車分



野や次世代航空機分野の発展のみならず、我が国の社会問題を解決の一助となるべくヘルスケア分野やインフラ分野などの産業振興が期待されています。そのためには、人と機械の協調系を対象として新たなメカトロニクス技術が必要となります。

そこで、本学が取り組む「人の作業を支援するためのメカトロニクス技術」について、人と機械とのインタフェースのための要素技術から、実際に人の作業を支援する応用技術まで幅広く紹介いたします。この機会が中京地域の産業振興のきっかけとなることを期待しています。

日 時：平成27年5月29日（金） 15:30～19:30

会 場：名古屋工業大学 大学会館1階レストラン（話題提供の部及び技術懇談の部）

【プログラム】

15:30～17:40 《話題提供の部》

挨拶 セッションコーディネータ 森田 良文 教授

話題提供1. 超音波による空中触覚インタフェース 星 貴之 テニユ・トラック助教
(キーワード：触覚、超音波、非接触、インタフェース)

話題提供2. 移動体の遠隔操作インタフェース 佐藤 徳孝 助教
(キーワード：遠隔操作、レスキューロボット、画像処理、Augmented Reality)

話題提供3. 小型で安価な万能飛行ロボット、あなたならどう使う？ 山田 学 教授
(キーワード：4ロータヘリコプタ、自動充電、見守り、安心・安全)

話題提供4. 療法士を助け、リハビリの世界を変えるリハビリ支援ロボット 森田 良文 教授
(キーワード：ロボット、トレーニング支援、定量評価支援、医療ニーズ具現化技術)

17:50～19:30 《技術懇談の部》

講師と会食しながら、リラックスした雰囲気での技術懇話会です。

じっくりと時間をかけて、ざっくばらんにお話し頂くことで、教員の持つシーズと企業のニーズが繋がってきた実績を持つ会です。情報収集の場としても是非、ご活用下さい！

※ご来場いただく際には、公共の交通機関でお越しいただけますよう、よろしくご配慮の程お願い申し上げます。

【参加申込方法】 会員名(会社名等)、参加者名(所属部門と氏名)、《技術懇談の部》参加の有無、および連絡先(E-Mail アドレス)を記入して、E-Mail または FAX にて 以下までお申込み下さい。

【申込み・問合せ先】 名古屋工業大学研究協力会事務局

E-Mail : kyoryoku-pal@adm.nitech.ac.jp TEL/FAX : 052-735-5538

【参加費】 名工大研究協力会 企業・個人会員：無料 /*非会員：4,000円(消費税込み)

※非会員の方は、《話題提供の部》《技術懇談の部》いずれか一方の参加の場合も 参加費を頂戴いたします。

【主催】 名古屋工業大学研究協力会 ・名古屋工業大学産学官連携センター

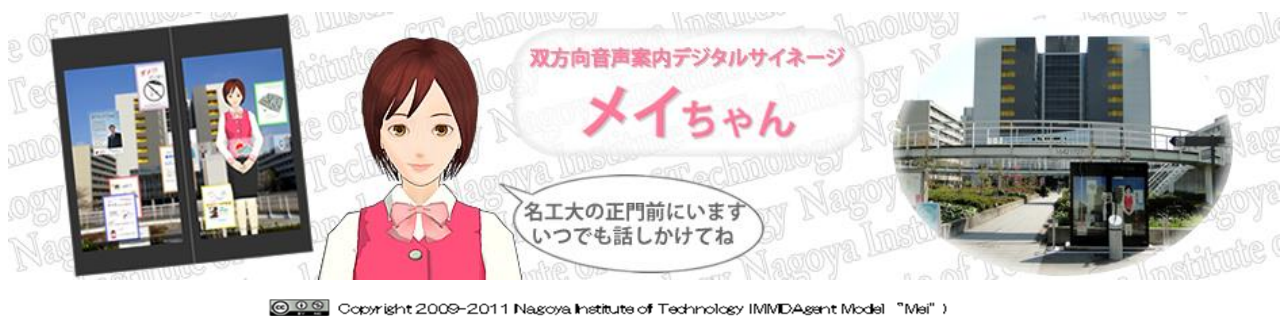
名古屋工業大学への交通アクセス

名古屋駅から、中央本線乗車（6分）→ 鶴舞駅下車（名大病院口から東へ約400m）
地下鉄鶴舞線 鶴舞駅下車（4番出口から東へ約500m）

名古屋工業大学キャンパスマップ



正門前 メイちゃんにお尋ね下さい。



申込書

名古屋工業大学 研究協力会宛

5月29日の第32回技術懇話会に参加します。

会員名(会社名等):

参加者名(所属部門と氏名):

メールアドレス:

お電話:

技術懇談の部: 参加 ・ 不参加 (どちらかに○をつけて下さい)